

ごあいさつ

私は2007年から上越市民になった「旅の人」です。上越地域ではヨソから入って来た者を「旅の人(タビノヒト、タビノシヨ)」と呼びます。そこには元来、幾分ネガティブな気持ちが込められていると聞きますが、僕は案外この表現が気に入っています(笑)。「旅の人」ってなんだかかっこよくないですか?(笑)。

さて「地方でのんびり暮らしたい」「そうだ、地方に移住しよう」と思う人が増えています。全国の自治体も、人口減少問題が深刻化していることもあって、移住者獲得には力を入れているところが多く、さながら移住者争奪合戦の様相になってきています。

しかし、案外疎かにされがちなのが「定住化・定着化」の面なのです。実際に、せっかく移住してきたのに地域に馴染めなくて結局出て行ってしまふ、という話はよく聞きます。

「定住化・定着化」政策は、行政よりもむしろ市民活動の出番だと僕は思います。とくに僕のような「旅の人」は移住者の気持ちも地域住民の気持ちも両方わかります。

上越地域全体の市民活動としてフェイスブック上での活動「上越移住支援ネットワーク・わっしょい」を2016年春から始め、そしてこのたびついに「お試し移住」受け入れ施設を作ることが出来ました。

わっしょいハウスの特徴は、お試し移住を始めたその日からネットワークの仲間がたくさん出来、あなたの移住を支えるところにあります♪

ぜひ、みなさん「わっしょいハウス」でお試してみてください♪

わっしょいハウス倶楽部
代表 中村真二

《中村真二略歴》

1968年京都生まれ、上越市安塚区在住(2007年から定住)、現在・NPO法人ふるさと越後温かい音楽の会理事長、上越志民会議主宰、安塚区地域協議会委員、懐メロギタリスト兼ご当地活性化プロデューサー

新潟県上越市はこんなところですよ♪

上越市は1971年、高田市と直江津市が合併して誕生。その後2005年「平成の大合併」により周辺13町村を編入合併して現在の形になりました。

新潟県を3分割して呼ぶ場合、京都に近いほうから上越、中越、下越地方となります。上越地方の中心の街として上越市という名前になりました。

人口約20万人弱、市域は広く、東京23区の約1.5倍の面積があります。

中心市街地の高田は全国一の長さを誇る「雁木」の街、又海沿いの直江津は夏の祇園祭が盛り上がる街、中山間地域は全国有数の豪雪地、と街有り自然有り、多彩な顔を持つ上越市です。

安塚区朴の木はこんなところですよ♪

2005年に上越市と合併するまでの安塚区は東頸城郡安塚町と言い、東頸城郡の「郡都」と呼ばれる中山間地域の中心地でした。

キューピットバレイスキー場や雪室活用研究のゆきだるま財団などが有名です。

わっしょいハウス1号館は安塚区の中でも最も奥地である朴の木(ほおのき)地区にあります。朴の木地区はわずか14戸の限界集落です。



朴の木の風景

《2号館3号館と増やすのが目標ですよ♪》

わっしょいハウス倶楽部には、その母体としてフェイスブックグループ「上越移住支援ネットワーク・わっしょい」があります。わっしょいは上越地域全体の移住者支援交流口コミ情報などの活動をしています。

多彩な魅力ある上越地域のあちこちに2号館3号館と増やしていきたいと考えています♪

お試し移住シェアハウス

わっしょいハウス



1号館(上越市安塚区朴の木)

♪上越への移住はココから♪

【お問い合わせはメールで】
joetsuidol@gmail.com

運営交流団体 わっしょいハウス倶楽部

〒942-0544 新潟県上越市安塚区朴の木 361

代表&1号館管理人 中村真二



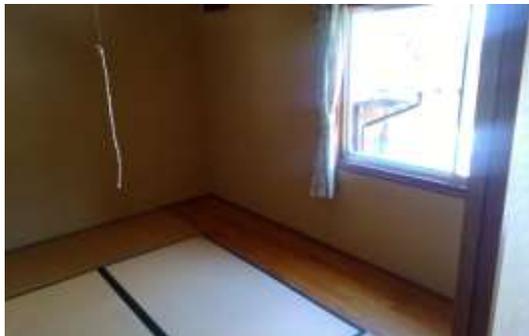
わっしょいハウスフェイスブックページ
<https://www.facebook.com/joetsuiju/>

2階居住スペース♪

203 洋室(約8畳)…木漏日が差し込む明るい部屋♪



202 和室(約8畳)…眺めの良い落ち着いた部屋♪



201 和室(8畳+)…レトロな雰囲気、風流人向き♪



- ・ ファミリーの場合、202、203号室をあわせて入居していただくのがオススメです。
- ・ ファミリー入居、ひと部屋に複数人入居を希望される方は条件等相談となります。

1階共用スペース♪

居間 (電子レンジ、トースター、電気ポット、等)



- ・ キッチン (ガスコンロ、冷蔵庫)
- ・ 風呂、トイレ(簡易水洗)、洗濯機、乾燥機等が共用で使用出来ます

わっしょいハウス倶楽部メンバーとの交流♪



《利用上の注意》

- ・ わっしょいハウスは「生活」の為のシェアハウスであり、ゲストハウス(宿泊施設)ではありません。宿泊施設として期待されるようなサービスは一切ありませんので予めご了承ください。
- ・ わっしょいハウス 1号館がある朴の木地区は豪雪地であり、冬期間は自動車を停める場所も限られています。来訪するときは必ず事前に管理人と相談の上、お越しください。

● 運営交流団体わっしょいハウス倶楽部 ●

わっしょいハウスの利用及び入居には本会への入会が必要です。

会員会費規定

(正会員)

入会金 1,000 円

年会費 1,000 円

- ・ 但し、代表が認めた場合に限り、同程度以上の物品又は労務の提供をもって入会金、年会費に替えることが出来る。
- ・ 正会員はフェイスブックアカウントを持ち、代表が定めたグループに登録しなくてはならない。

(賛助会員)

賛助会費 一口 2,000 円

- ・ 賛助会員は賛助会費納入日より 1 年間は正会員と同じ条件でわっしょいハウスを利用出来る。
- ・ 賛助会員は本会の役員になることは出来ない。

わっしょいハウス 1号館利用料規定

- ・ 2階個室入居
 - A、共同作業有り / 月額 15,000 円
(年額前納 165,000 円) (正会員のみのみ)
 - B、共同作業無し / 月額 30,000 円
(年額前納 330,000 円) (正会員又は賛助会員のみのみ)
- 共用可(トイレ、キッチン、冷蔵庫、風呂、洗濯機、乾燥機など)
- ひと部屋に複数名入居したい場合は条件要相談
- 年額前納した場合いかなる理由があっても途中返金、変更出来ません
- 入居は最大3年まで可能
- 4年目以降は代表が認めた場合に限り利用料を上乘せした上で入居を認める場合あり
- 入居月、退去月は日割り計算

本規定は予告無く変更する場合があります

わっしょいハウス倶楽部会員会費規定

(正会員)

入会金 1,000 円

年会費 1,000 円

- ・ 但し、代表が認めた場合に限り、同程度以上の物品又は労務の提供をもって入会金、年会費に替えることが出来る。
- ・ 正会員はフェイスブックアカウントを持ち、代表が定めたグループに登録しなくてはならない。

(賛助会員)

賛助会費 一口 2,000 円

- ・ 賛助会員は賛助会費納入日より1年間は正会員と同じ条件でわっしょいハウスを利用出来る。
- ・ 賛助会員は本会の役員になることは出来ない。

お試し移住シェアハウス「わっしょいハウス1号館」利用料規定

- ・ 2階個室入居
 - A、共同作業有り／月額 15,000 円（年額前納 165,000 円）（正会員のみ）
 - B、共同作業無し／月額 30,000 円（年額前納 330,000 円）（正会員又は賛助会員のみ）
- 共用可（トイレ、キッチン、冷蔵庫、風呂、洗濯機、乾燥機など）
ひと部屋に複数名入居したい場合は条件要相談
年額前納した場合いかなる理由があっても途中返金、変更出来ません
入居は最大3年まで可能
4年目以降は代表が認めた場合に限り利用料を上乗せした上で入居を認める場合あり
入居月、退去月は日割り計算

本規定は予告無く変更する場合があります